SDGs 実践報告(受講生感想)

指導教官：中　善則
授業者：花園大学文学部日本文学科日本文学コース
４回生　　村瀬　優希

◎SDGs について学んで

・SDGs の一つ一つの目標が明確で、どんなことを考えればよいのか分かりやすかった。SDGs の目標はどれも身近なもので、自分からやっていこうという気持ちに持っていくことができた。
・全く聞いたことのないワードだったけど、SDGs の授業を受けると聞いたら、CM 等でも流れていて、頭の中に入ってくるようになった。SDGs の目標が意識づけられた。
・SDGs とは何か、と思っていたけど、次第に、自分たちの生活の近くには、どの目標のものが潜んでいるのかと考えられるようになった。
・何も知らなかったけど、世界が一体となって達成すべき国際目標であるということが分かった。今後も新聞等を活用して、どのニュースがどの SDGs に当てはまるのか、考えていきたいと思います。
・SDGs というアルファベットが並んでいるだけで少しとっつきにくい話題だと感じていたので、あまり深く知りませんでした。ですが、今回の授業を通して、ただこの SDGs について知ることができただけではなく、普段の生活の中にも取り組むことができる内容があるのだと、気づくことができました。以前よりも SDGs についての印象が変わったような気がします。
・正直、名前と意味しか分からないというのが事実です。しかし、今日の新聞を使った授業を聞いて、体験して、普段から目にするニュースに着目して SDGs について考えたり、自分たちができることは何かを考えたりするきっかけになりました。生徒が興味を持ったニュースから考えていくこともいいのかな、と思いました。
・SDGs の取り組みは良い取り組みだと思った。現在は 17 の目標だけだが、18 番目を増やしてみるのもいいかなと思った。
・SDGs の付箋を使うことで、自分の意見も他の人の意見も分かりやすかった。
・SDGs は以前から知っていましたが、詳しく見ていくと、SDGs に関係する良いことと悪いことがあるんだなと思いました。SDGs の中には、私たち一人では、解決できないこともありますが、できることを一人一人が意識してやっていくことが SDGs の達成につながっていくと感じました。
・世界のいろいろな課題は解決するための方法が、全て違うことに気づけると思いました。新聞１日分の中にはものすごい数の課題を見つけることができました。
・新聞には SDGs のロゴは載っていないけど、色々なところに SDGs が隠れていて、普段とは違う読み方ができ、かつ、SDGs の意味などを理解することができた。世界には様々な課題があり、それを解決するための目標であることを知れた。
・福祉科だったので、SDGs については学んでいたのですが、覚えるだけの内容でした。今回は、そこに対しての考えを深めるという点で勉強になりました。ただ単に、知識をつけるのではなく、本質から理解することで、自分の頭に強く根付いていると思います。
・SDGs について知らなかった私にとって、とても新鮮な考え、視点でした。これから先の将来に向けて、持続可能な社会を目指す取り組みの視点から、様々なことを考えることができました。コロナウイルスに関しても、教育や健康・福祉の面から行わなければならない対策・施策が必要であることをグループワークで学ぶことができました。
・SDGs は今回の授業で初めて聞きました。SDGs の目標を調べるだけでは、具体的にどのようなものがあるのか分からなかったけど、新聞１日分の中にこれだけ存在し、身近なものなんだということに気づくことができました。
・課題に対する解決策を、私たち・地域・国の３つの視点で考え・共有することで、課題は似たようなものでも、解決策がいろいろあり、これが正確という解決策はなく、自分にできることを考え、実行することが大切なんだと気づくことができました。

◎新聞を使った授業を受けての感想

・新聞を壁に貼り、意見の共有を支援しやすい場づくりがなされていて、おもしろかった。
・自分の興味のある内容が最初に目に入ってきた。見出しで記事の印象がほとんど決まると思った。でも、見出しと記事の内容があっているのかを確かめるためには熟読する必要があると思った。
・新聞を読む機会は、ほとんどなかったけど、今回の授業を受けて、新聞のもつ魅力を再発見できた。新聞１日分を使った授業は受けたことがなく、とても新鮮でした。
・付箋を貼り出していくことで意見共有がしやすかった。
・新聞記事を読んで、意見を共有したり、意見の違いを確認したりする授業は、今までにも受けたことがありました。でも、SDGs という１つの観点を設定して、新聞記事にある「今」を見つめながら課題を考えるという授業は、新鮮でとても楽しかったです。教科書で取り上げられているような少し古い話題ではなく、今日の新聞を活用することでリアルタイムな話題が並んでおり、後日、そのニュースに触れたときに、この授業を思い出すと思います。授業時間だけで完結するのではなく、授業時間外にもつながる学びになっていると感じました。今まで受けてきた新聞記事を使った授業の中で、一番楽しく、効果的で活動的な授業でした。
・新聞一日分を使っての授業は、初めての体験だったので、単元等の制約はありますが取り入れたいなと思いました。
・自分からその課題に対して解決していこうという考えにはいたらないので、こういった授業は増えてもいいなと感じました。高校の時にもこのような授業を計５時間程度してきましたが、その時に比べて意見が出しやすかったです。
・教室の中を歩いて、壁に新聞を貼る授業は初めてでしたが、内容は良かったです。新聞記事にある 17 の目標を、自分自身で見つけ、考えていくのは、今までにはなかった授業でした。
・新聞は私たちの身近にあるけれど、一面だけぱっと見たり、テレビ欄だけを見たりと、あまり深く見ることはなかったので、様々な記事が同じ内容でも、いろいろな視点で見ていて、おもしろいものばかりであると知りました。新聞を使った授業では、具体例を探して、調べて、課題を考えさせるという自主性もあってすごくいいものだと感じました。与えられたものを考えるのではなく、自分で見つけるので、より興味をそそられ、学ぶきっかけにもなると思いました。新聞１日分を使うことで、たくさんの意見がいろいろな方面から見て、考えることのできる授業でした。
・普段、新聞を読んでいない生徒でも、この授業を通して、新聞の情報の多さに気づけると思いました。普段は目にしないような記事にも、自然と目がいくのでよかったと思います。
・新聞１日分を使ったことで、普段は読まない部分にまで、目を通すことができた。自分が思っている以上に、色々な情報が盛り込まれていて、授業を受けていて楽しかった。
・普段、新聞を読んでいても、意識することのなかった視点、考えないであろう視点に気づきました。SDGs の目標達成に向けて、「自分たちにできることは何か」を考えながら、新聞を読むことで新たな発見につながり、「読むことのおもしろさ」を感じました。新聞に限らず、世の中の様々な情報に対して、今回の授業のような視点を持つことの大切さを実感できました。SDGs について考えることを通して、「新聞を読む力」、「グループでの対話」も同時に行うことができ、様々な部分で力をつけることができました。何より、新聞に対する興味を持たせることができていてよかったです。また、気に止めていなかった記事を改めて読み返していくことで、様々な視点を広げることができました。
・今、どこで、何が起きているのか、そして、それに対する対策・施策を知ることができて、より授業内容に集中することができた。新聞を用いることで、視野を広く考えることができた。社会科の授業だと意識することで、普段はあまり気に止めていなかった記事が、様々な SDGs と絡んでくることを知って、より考えが深まりました。